

*スクーリングはHJ39のテキストで行います。GA48で履修している方にはスクーリングの受講許可後HJ39のテキストを配布します。
この対応は2025年度限りです。詳しくは8ページをご参照ください。

専門教育科目	演習科目	受講料	5,000円			
科目名:	手話入門		科目コード	HJ39		
科目主査:	谷 千春	担当講師:	谷 千春	単位	2	
授業の目的と概要			グループワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
聴覚障害について、医学、福祉、教育、文化などの側面から理解し、課題を掘り下げていきます。 手話や指文字をはじめ、筆談、空書き、読唇などその他のコミュニケーション手段についても実習を通じて学びます。						
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:				
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを確認し、ご自分の名前や簡単な挨拶を予習してください。 テキストに付属しているDVDを視聴してください。					
テキスト	『動画つき 気持ちが伝わるはじめての手話』谷 千春, 主婦の友社, 最新版 『はじめての手話』は短大の通信授業で使用します。スクーリングでは使用しません。					
この科目の 到達目標	①聴覚障害について、医学、福祉、教育、文化などの側面から理解することができる。 ②手話を使って簡単な挨拶や自己紹介ができる。 ③聴覚障害者との手話以外のコミュニケーションについて実践することができる。					
成績評価 の方法	授業中に実施する実技・ワークへの取り組み姿勢、参加状況および小テストの結果、最終試験にて成績評価を行います。実技 では一人ひとり手話で発表してもらいます。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。					
事後学習	手話に関する参考文献、DVD、動画などで学習を継続してください。機会があれば、各地の手話講習会や手話サークルに通う こともお勧めします。					
事後学習の 参考文献	『NHKテキスト みんなの手話』NHK出版					
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証						